

2月・3月の家庭教育月間目標

はなしをしっかりときこう！

たくさんはなしをしよう！

普段、家庭でお子さんと話をされていますか。子どもたちには、学校や園でのこと、友達のこと、好きなもののこと・・・、話したいことがいっぱいあります。子どもが何でも話してくれる時間は、そんなに長くはありません。「今！聴いてほしい。」と、思ったとき「うん、そうなんだね。」「それで、どうしたの？」と相づちを打ちながら聴いてもらおうと、子どもたちは話を聴いてもらっていると実感することができます。

みなさんは「積極的傾聴」という言葉を知っていますか。子どもたちが安心して、つい話をしたくなるような環境づくりをすることが大切です。

積極的傾聴のための「聴く側の3要素」

1. 共感的理解

子どもの話を、子どもの立場にたって、子どもの気持ちに共感しながら理解しようとする

2. 無条件の肯定的関心

子どもの話を、親の好き嫌いや善悪の価値観で判断せず、子どもの考えを想像しながら肯定的に聴く



3. 自己一致

子どもの話にわからないところがあったら、親も積極的に質問する

厚生労働省：「働く人のメンタルヘルス・ポータルサイト こころの耳」「話を『聴く』～積極的傾聴とは～」から作成

奈良県立教育研究所

教育研究所Webサイト

家庭教育ページ



毎月第3日曜日は、「家庭教育・家庭の日（いきいきサンデー）」です